

## 平成28年度 犬居小学校 外国語活動報告

### <本校の外国語活動での児童の実態>

本校では月1回程度、年間12回のALT訪問を活用し、5～6年生の外国語活動だけでなく、1～4年生もALTとの交流を続けてきている。6年生は、これまでの積み重ねから外国語を使って話すことに慣れ親しんでいる様子が見られる。また、5年生は、数字や色、形、簡単な英単語を話すことが概ねできている。1～4年生は、ALTとあいさつや会話をするのを積極的に楽しんでいる。

子どもたちは、英語の言葉の響きを楽しみ、体全体でリズムを取りながらチャンツを何回も繰り返すことが好きである。ゲームなどの活動では、だれとでも楽しむことができる。自分の好きなことや行ってみたい国を紹介したり友達に尋ねたりするときにも、友達と積極的に交流をしているが、やや長い英文を言うことには苦勞している様子が見られる。



<授業の様子>

### <目標>

楽しみながら、友達と進んで会話をすることができるようにする。

工夫したルールのもとで楽しいチャンツやゲームを繰り返し行い、児童が自然に外国語に慣れ親しむことができるようにする。

### <活動>

#### ① チャンツ

- ・「Hi, friends!」のチャンツを利用した。手拍子を打ちながら体を動かし、繰り返し取り組んだ。3、4人程度のグループを作って練習し、どのチームが一番上手に、楽しくできるかを競い合った。

#### ② ゲーム

- ・ポインティングゲーム……ペアになり、教師が言った英単語の絵カードを素早く指さすゲームを行った。
- ・ミッシングゲーム……活動で用いる絵や文字のカードを並べておき、後ろを向いている間に、どのアルファベットカードがなくなったのか当てるゲームを行った。カードをばらばらに置いたり、なくなるカードを増やしたりすることで、レベルアップしていった。
- ・キーワードゲーム……ペアになり、キーワードが聞こえたら消しゴムを取り合うゲームを行った。
- ・カード集めゲーム……多くの友達と英会話をしながらアルファベット大文字カードを集め、集めたカードを組み合わせてTV、DVDなどと言葉をつくるゲームを行った。

### <成果と課題>

- チャンツやゲームは、どの子も毎回とても楽しみにしている様子で、意欲的に取り組んだ。そのため、ゲームで用いた単語を自然に口にできる子どもが多かった。また、学級の間関係づくりにも広げることができた。
- じゃんけんゲームやEraserゲームなどで友達と交流をすることは好きだが、単語の習得を目的とずれてしまい、じゃんけんをして終わってしまう場合があった。目的をはっきりさせ、楽しみながら単語をスムーズに習得できるように目指していきたい。